

# 令和元年度社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会事業報告

## 〇はじめに

令和元年度、柏崎市社会福祉協議会では、「法人組織のガバナンスの強化、地域福祉に貢献する公益的な事業の推進」を基本方針に掲げ、①経営基盤強化と働きやすい職場づくりのための環境整備、処遇改善、②あたたかい心で支え合い、誰もが豊かに輝けるまちづくりの推進、③利用者の立場に寄り添ったサービスの提供を3つの柱として取り組み、地域福祉推進に努めた。

法人運営部門では、働き方改革に伴う同一労働同一賃金への対応として、給与制度の大幅な見直しに取り組むとともに、令和4年度を計画期間の初年度とする第一次発展・強化計画の策定に取り組むことを決定した。

地域福祉推進部門では、新たな地域福祉課題の顕在化に対応するため、積極的なコミュニティソーシャルワークの展開を目指すなど第三次地域福祉活動計画の着実な進捗に努めた。

また、成年後見制度の更なる普及啓発を目指し、市民後見人による後見活動の支援、日常生活自立支援事業や生活困窮者自立支援事業等の効果的な実施に努めた。

児童クラブ運営受託事業においては、有資格者の採用が困難を極め、常勤職員の採用を増やしたことなどにより、急激な人件費の増加をもたらす結果となった。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、3月9日から全ての小学校が休校となり、急遽一日開設となったが、常勤職員を多く採用していたこともあって、児童の受け入れ態勢を比較的容易に整えることができた。

在宅福祉サービス部門においては、報酬改定の影響に加え、業態や事業所の所在地域による利用者確保面での有利不利もあり、一部事業においては収入の減少に合わせ配置人員を調整するなど支出の抑制に努め、自主財源の確保に努めた。

しかし、当会の財政状況は、支出超過の状態となっており、成長事業への経営資源の重点配分や不採算事業の縮小廃止など一刻も早い収支改善への取り組みが求められている。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により2月以降、令和元年度に新規に受託したかしわざきめぐりあい事業のイベント、ボランティア講座、各種会議の中止や延期、指定管理施設における貸館の休止、生活福祉資金緊急小口資金等の特例貸付の実施など想定外の事態が発生した。

当市における地域福祉・在宅福祉サービスの中核的な団体として、重要なサービスの提供が中断しない、または中断しても早急に再開できる体制の確保に向けて、事業継続計画の策定と計画に基づく事業実施が新たな課題となっている。

令和2年3月31日現在の職員数は、正職員100人、契約職員42人、非常勤職員125人、嘱託職員17人の計284人となっている。

## ◎総務・地域福祉部門(総務課・地域福祉課)

### ○総務課(総務係・経理係)

総務課においては、働き方改革関連法案の施行及び同一労働同一賃金への対応に備え、給与制度の大幅な見直しに取り組んだ。また、法人内における課題の早期発見と共有化、対応策の総合的な検討と迅速な対応を図るため、各係での事業実施上の課題を抽出した結果、単年度での対応が困難な問題が顕在化し、第一次発展・強化計画の策定に向けた取り組みに着手した。

しかし、資格を有する非常勤職員の人材確保が困難な状況から、常勤職員の採用を増加させたことなどが人件費の大幅な増加に繋がり、経営基盤の再構築と組織ガバナンスの更なる強化が求められることとなった。そこで、利用者の利便性と職員体制の強化を目的とした組織改編を実施するとともに、課長以上の管理職による会議を定例で実施し、法人の健全経営に努めた。

### ○総務係

#### 1 法人運営機能の強化

##### (1) 運営体制の強化

※( )内は30年度の実績

##### ① 内部監査等による統制環境の充実と不正の防止

.....顧問会計事務所による会計業務月次監査 8回、決算監査 1回

##### ② 法令遵守とモラル意識の形成

.....特定個人情報を含む個人情報の取り扱い、保管、管理の体制の構築を行った

##### ③ ホームページ及び福祉のひろばによる事業報告及び財務諸表、役職員組織体制等の公表

.....ホームページや「福祉のひろば」における財務諸表等の公表、各事業所における事業計画、予算書、決算書の掲示

#### 2 法人の会務運営

##### (1) 評議員会の開催：5回

開催日	出席人数	議 事
6月19日	14人	承第1号 平成30年度事業報告の認定について 承第2号 平成30年度決算の認定について 決算監査報告 議第1号 令和元年度資金収支補正予算(第1号)について 選第1号 役員の選任について
9月25日	14人	議第2号 令和元年度資金収支補正予算(第2号)について 報第1号 第三者委員の選考について
12月18日	14人	議第3号 基本財産の処分について 議第4号 定款の一部改正について 議第5号 令和元年度資金収支補正予算(第3号)について 議第6号 第一次発展・強化計画の策定について
3月18日	15人	議第7号 令和元年度資金収支補正予算(第4号)について 議第8号 公益事業の一部廃止について 議第9号 定款の一部改正について 議第10号 令和2年度事業計画について 議第11号 令和2年度資金収支予算について
3月24日 (書面議決)	15人	議第12号 令和元年度資金収支補正予算(第5号)について

## (2) 理事会の開催：6回

開催日	出席人数	議 事
5月29日	12人	承第1号 平成30年度事業報告の認定について 承第2号 平成30年度決算の認定について 決算監査報告 議第1号 令和元年度資金収支補正予算(第1号)について 議第2号 定時評議員会の招集の決定について 選第1号 次期役員候補者(案)の推薦提案について 選第2号 評議員選任・解任委員の選任について 報第1号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について
6月20日	10人	選第3号 会長の選定について 選第4号 副会長の選定について 選第5号 常務理事の選定について 選第6号 評議員候補者の推薦提案について 選第7号 第三者委員の選考について 議第3号 評議員選任・解任委員会の招集の決定について
9月18日	12人	議第4号 令和元年度資金収支補正予算(第2号)について 議第5号 評議員会の招集の決定について 報第2号 実地指導の結果について
12月11日	13人	議第6号 基本財産の処分について 議第7号 定款の一部改正について 議第8号 令和元年度資金収支補正予算(第3号)について 議第9号 評議員会の招集の決定について 議第10号 (仮称)中期計画の策定について 報第3号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について
3月11日	11人	議第11号 令和元年度資金収支補正予算(第4号)について 議第12号 公益事業の一部廃止について 議第13号 令和2年度事業計画について 議第14号 令和2年度資金収支予算について 議第15号 定款の一部改正について 議第16号 事務局規程の一部改正について 議第17号 経理規程の一部改正について 議第18号 就業規則の一部改正について 議第19号 給与規程の一部改正について 議第20号 職員私有自動車業務使用規程の一部改正について 議第21号 居宅介護事業所運営規程(移動支援事業・生活サポート事業)の一部改正について 議第22号 児童クラブ運営規程の一部改正について 議第23号 居宅介護事業所運営規程の一部改正について 議第24号 相談支援事業所おうぎまち運営規程の一部改正について 議第25号 相談支援事業所おうぎまち(一般相談)運営規程の一部改正について 議第26号 指定就労継続支援B型運営規程の一部改正について 議第27号 柏崎市西山町いきいき館指定管理業務に関する規程の廃止について 議第28号 評議員会の招集の決定について 選第8号 評議員候補者の推薦提案について 議第29号 評議員選任・解任委員会の招集の決定について

3月24日 (書面議決)	13人	議第30号 令和元年度資金収支補正予算(第5号)について
-----------------	-----	------------------------------

(3) 評議員選任・解任委員会の開催：2回

開催日	議 事
5月29日	(1)評議員の選任について (2)その他
3月26日	(1)評議員の選任について (2)その他

(4) 監査の実施：2回

開催日	名称	議 題
5月16日	決算監査	平成30年度決算
11月11日	現金出納監査	令和元年度上期事業報告及び現金出納監査

(5) 地域福祉委員会、在宅福祉サービス委員会の開催：1回

開催日	名称	議 題
2月10日	地域福祉委員会 在宅福祉サービス委員会	・令和2年度事業計画(案)について ・令和2年度資金収支予算(案)について

(6) 第三者委員会の開催：2回

開催日	議 題
5月22日	平成30年度下期 苦情・事故等の発生状況について 苦情13件、事故86件、ヒヤリハット172件
11月27日	令和元年度上期 苦情・事故等の発生状況について 苦情24件、事故122件、ヒヤリハット169件

※令和元年度年間総数 苦情35件、事故188件、ヒヤリハット379件  
(苦情36件、事故192件、ヒヤリハット964件)

(7) 役員研修の実施

- ① 新潟県民福祉大会への参加(南魚沼市)：10月29～30日 . . . . . 参加者 12人

### 3 職員の育成・組織力の向上

(1) 人材の確保と育成

① 適切な人員配置と中長期採用計画の策定

中長期採用計画を、第一次発展・強化計画の中に位置づけて計画を策定することとした。

② 専門職・介護職の確保・育成・定着

ア 職員の採用

正職員	契約職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
11人	1人	37人	0人	49人

イ 職員の退職

正職員	契約職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
7人	3人	22人	4人	36人

③ 障がい者雇用等の促進

ア 高齢者等の雇用の安定等の取組み . . . . . 60歳以上の雇用職員 嘱託12人、非常勤38人  
(嘱託8人、非常勤26人)

イ 障がい者雇用の取組み . . . . . 嘱託2人、非常勤3人  
総務課、赤坂山・松波・北条デイサービスセンター、かしわハンズ各1人  
(嘱託1人、非常勤3人)

(2) 職員の資質向上と育成

① 人事考課制度の効果的運用と育成面接による目標管理

ア 正職員を対象に DO-CAP シートを活用した育成面接 . . . . . 2 回

(ア) 育成面接による目標管理、業務管理等人事考課制度を効果的に運用した。

(イ) キャリアパス・研修体制の構築を図り周知した。

イ 管理職による業務の進捗管理と内部統制の強化

(ア) 課長会議の開催 . . . . . 12 回

(イ) 会長・課長合同会議の開催 . . . . . 12 回

(ウ) 係長級以上の役職員へのヒアリングの実施 . . . . . 5 月、10 月、2 月

(エ) 各係の事業実施上の課題の抽出 . . . . . 8 月

② 各種研修機会の提供と充実のため、係毎の研修計画立案を依頼した。

③ 国家資格をはじめとする各種資格取得の助成実績 . . . . . 社会福祉士 1 人(0 人)

(3) キャリアアップ制度の推進

① 国家資格等有資格者の正職員への登用推進 . . . . . 0 人(2 人)

② 非常勤職員から常勤職員へのステップアップの奨励 . . . . . 2 人(5 人)

③ 雇用契約職員の無期転換後の労働環境整備 . . . . . 雇用契約職員細則の変更

ア 無期転換新規申出者数 . . . . . 契約 1 人、非常勤 4 人(契約 30 人、非常勤 31 人)

イ 無期雇用契約職員総数 . . . . . 契約 28 人、非常勤 27 人

(4) ワーク・ライフ・バランスの推進及び健康支援

① 安心して意欲的に働ける労働環境の整備

ア 年次有給休暇の取得促進

(ア) 年次有給休暇取得日数

正職員	契約職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
1,264 日	428 日	1,305 日	245 日	3,242 日
(1,104 日)	(490 日)	(863 日)	(221 日)	(2,678 日)

(イ) 年次有給休暇取得率

正職員	契約職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
32.9%	42.5%	53.8%	53.1%	47.0%
(30%)	(46.9%)	(41.4%)	(42.2%)	(40.3%)

イ 夏季休暇等の特別休暇の取得推進

(ア) 夏季休暇 . . . . . 196 人

(イ) 療養休暇 . . . . . 2 人 95 日

(ウ) 忌引き . . . . . 23 人 55 日

(エ) 結婚休暇 . . . . . 1 人 7 日

(オ) 通院休暇 . . . . . 1 人

イ 育児休業・介護休業制度等の周知と取得の促進

(ア) 育児休業の取得 . . . . . 7 人(8 人)

(イ) 子の看護休暇取得 . . . . . 10 人(10 人)

(ウ) 介護休業の取得 . . . . . 0 人(0 人)

ウ 各種助成金制度の取得推進、支援

(ア) 高年齢者雇用継続給付金 . . . . . 対象者 17 人(16 人)、支給件数 65 件(52 件)

(イ) 育児休業給付金 . . . . . 対象者 6 人(6 人)、支給件数 40 件(34 件)

(ウ) キャリアアップ助成金 . . . . . 支給件数 0 件(1 件)

(エ) 特定求職者雇用開発助成金 . . . . . 対象者 2 人(2 人)

(オ) 出産手当金 . . . . . 対象者 2 人(4 人)

- (カ) 傷病手当金 . . . . . 対象者 0人(4人)
- ② 心と体の健康支援
  - ア 定期健康診断の実施(3日間)による早期発見及び要精密検査者への受診勧奨を実施した。
    - (ア) 人間ドックの受診助成 . . . . . 90人(78人)
  - イ 衛生委員会における健康障害防止対策及び安全衛生活動を推進した。
    - (ア) 衛生管理体制会議 . . . . . 2回(2回)
    - (イ) 衛生委員会 . . . . . 12回(12回)
    - (ウ) 交通事故発生情報等の周知、注意喚起の実施
    - (エ) 衛生委員会研修会(交通安全、腰痛予防、メンタルヘルス)の開催 . . . 3回(3回)
  - ウ 心の健康に関する研修の実施により、メンタルヘルス対策を推進した。
    - (ア) ストレスチェックの実施と高ストレス者への対応 . . . . . 扇町 92人中6人  
(扇町 98人中4人)
  - エ インフルエンザ予防接種の実施 . . . . . 294人(290人)
    - (ア) 感染症罹患者の特別休暇取得
      - ・インフルエンザ . . . . . 3人 16日(12人56日)
      - ・新型コロナウイルス関連(家族及び本人の発熱に起因する休暇) . . . . . 2人 10日

#### 4 会員会費制度の実施

##### (1) 会員加入率の促進向上

当会の広報紙や会員加入促進運動のチラシ等で会費の用途を周知し、加入率向上に努めたが、市民への理解が広がらず、加入率は横ばいであった。

##### (2) 会員会費制度の推進

社会福祉協議会会員会費制度については、特別会員加入の特典として本会のホームページや広報紙への広告掲載を行い、新たな企業、団体からも加入の申し込みがあった。

##### ① 一般会費

※( )内は30年度の実績

- ア 納入町内会数 . . . . . 302町内会(301町内会)
- イ 内訳

全世帯数	会員数(世帯)	会費額(円)	納入率
32,654 (32,827)	27,841 (28,153)	10,903,877 (11,102,032)	85.26% (85.76%)

##### ② 賛助会費及び特別会費

種別	口数	会費額(円)	人数・件数
賛助会費：1口 500円	766 (807)	383,000 (403,500)	426 (464)
特別会費：1口 5,000円	170 (159)	850,000 (795,000)	74 (74)
合計	936 (966)	1,233,000 (1,198,500)	500 (538)

##### (3) 広報・啓発活動

- ① ホームページの管理、各種情報の発信 . . . . . 31回
- ② 広報紙「福祉のひろば」の発行 . . . . . 6回(6回)

#### 5 社会福祉協議会長表彰の実施

##### (1) 功労者表彰の実施

8月27日：柏崎市産業文化会館

- ① 民生委員・児童委員表彰 . . . . . 1人
- ② 社会福祉活動優良表彰(団体) . . . . . 1団体

- ③ 社会福祉活動優良表彰(個人) . . . . . 18人
- ④ 永年勤続表彰 . . . . . 1人
- (2) 福祉活動等功労者の顕彰と市民に対する住民福祉活動の啓発  
多くの市民が参加したパートナーミーティングの席上にて、功労者を顕彰。当会広報紙や新聞等で住民に功績を周知するとともに、草の根福祉活動の啓発を図った。

**6 指定管理事業**

- (1) 柏崎市総合福祉センター  
障がい者、高齢者、児童、ひとり親家庭等、地域福祉推進を活動の目的とする団体等に対し、福祉センターの利用を促進し、活動の場の提供を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月1日から貸館業務を休止し、入館制限を行った。

① 総合福祉センター年間利用状況

会議研修室	調理実習室	研修室和室	会議室(1)
5,272人(5,912人)	1,288人(1,937人)	4,429人(5,141人)	4,396人(4,958人)
会議室(2)	作業研修室	プレイルーム	ボランティア図書室・集会室
5,059人(6,101人)	7,471人(6,902人)	4,985人(5,294人)	2,803人(3,064人)
相談室	第三会議室	その他	合計
314人(323人)	1,355人(1,018人)	938人(805人)	38,310人(41,455人)

使用料金徴収額 . . . . . 311,984円(430,769円)

- 7 柏崎市共同募金委員会への協力 . . . . . 10月～12月
- 8 日本赤十字社柏崎市地区への協力 . . . . . 5月～7月

**○経理係**

**1 経営体制と財務基盤の強化**

- (1) 中長期の各種積立計画及び大規模修繕計画策定の取り組み  
. . . . . 第一次発展・強化計画の策定に併せて取り組みを行うこととした。
- (2) 内部統制の強化及び経理規程等の見直し  
組織編制を見直し、「障害福祉事業課」の廃止、「こども支援課」を新設することを決定した。従来の障害福祉事業課に所管されていた係は然るべき課に配置し、今回の編成変更に伴い関連する各課及び各係名を変更することも併せて決定した。

**2 適正な会計業務の実施**

- (1) 顧問会計事務所による定期監査の実施 . . . . . 8回(6回)
- (2) 法人全体の出納管理及び予算・決算管理を実施した。
- (3) 寄付金品の収受及び集計管理

種別	件数	金額(円)	備考
個人(現金)	5	611,000	
法人・団体(現金)	12	931,220	
個人(物品)	24	時価評価 1	食材料、米他
法人・団体(物品)	10	時価評価 20,000	食材料、タオル他

- (4) 税務申告(消費税及び法人税)を実施した。

① 消費税	8,232,300 円
② 法人税	0 円

### 3 介護報酬請求及び各種申請、届出等に関する事務の実施

(1) 介護報酬・利用者負担金等の請求管理・入金管理を徹底した。

3月31日時点未納・滞納者及び金額 . . . . . 10人 558,166円

(2) 各種届出書を作成し、提出した。

## ○地域福祉課(地域福祉係・生活支援係・こども支援係・高柳支所・西山支所)

地域福祉課では、全ての人が、地域で安心して暮らせるように、3年目を迎えた第三次地域福祉活動計画(29年度～33年度)を推進した。

地域福祉係においては、地域食事サービス、年末のおせち料理配達事業等訪問による見守り活動を展開するとともに、誰もが気軽に集い、通うことができるふれあいサロンへの活動支援を実施した。さらに、地域ケア会議への積極的な参加や住民同士が身近な地域福祉について話し合う地域懇談会等を開催し、住民相互が支え合う地域づくりに努めた。

生活支援係においては、日常生活自立支援事業や成年後見制度普及啓発等事業を通じ、高齢者や障がい者が地域で安心して暮らすことのできる権利擁護事業を展開した。また、生活困窮者自立支援事業では、自立相談支援事業を中心に、家計改善相談事業、就労準備支援事業、こどもの学習・生活支援事業など、個別ニーズに対し、きめ細やかな対応に努めた。

こども支援係においては、柏崎市から受託した22か所の児童クラブの運営を行った。3月には、新型コロナウイルス感染拡大防止のために小学校が休校になったため、児童クラブを1日開設し、児童の受け入れを行った。

## ○地域福祉係

### 1 第三次地域福祉活動計画に基づく地域福祉の推進及び事業の展開

(1) 第三次地域福祉活動計画に沿った事業の展開と進捗管理

① 地域福祉活動計画の周知・進捗管理

ア 推進会議による進捗管理 . . . . . 5月28日、10月23日

イ 研修会の開催 . . . . . 2月4日

ウ 先進地視察の実施(渋川市社会福祉協議会):11月26日 . . . . . 10人

② コミュニティを単位とした住民同士の協議する場づくり

ア 高柳地区をモデル地区として開催(ボランティア講座、茶話会など3回開催)

イ 別山地区をモデル地区として開催(10町内で開催)

③ 地域の生活課題の把握:地域診断

ア 地域情報の収集・分析

(ア) 地域ケア会議等への参加 . . . . . 32回(41回)

(イ) 地域連携担当者会議への参加 . . . . . 6回(6回)

イ 地区福祉組織が実施する支え合い事業の運営支援

(ア) 地区福祉組織への活動費の助成 . . . . . 29団体(30団体)

(イ) 地域ふれあいサロンへの活動費の助成 . . . . . 91団体(107団体)

(ウ) 地域食事サービスを実施する17団体に活動費を助成 . . . . . 17団体(17団体)

ウ 地区福祉組織、ふれあいサロン運営者研修会の開催

(ア) 地区福祉組織研修会:12月3日 . . . . . 9人



- (イ) ふれあいサロンボランティア研修会 . . . . . 4回開催 83人(79人)
- (ウ) 地域食事サービスボランティア研修会：11月14日 . . . . . 19人(19人)
- ④ 地域リーダーの養成 . . . . . 講座開催中止
- ⑤ 気軽に集える場、交流の場を地域につくる支援
  - ア ふれあいサロン、子育てサロンの立上げ及び運営支援 . . . . . 立上げ相談10件

- イ 地域で生活する障がい者とボランティアによる料理交流会の開催協力
  - . . . . . 9回開催延110人(9回開催延べ300人)
- ウ 福祉センターお茶のみサロン . . . . . 45回開催 延691人(50回開催延べ350人)

(2) ふれあい総合相談所の設置

相談名	相談日	相談件数
心配ごと相談	毎週月・火・木・金曜日	240件(220件)
巡回相談	8月(高柳地区、西山地区)	1件(0件)
法律相談	毎月第1・第3火曜日	76件(56件)
司法書士相談	毎月第4木曜日	37件(36件)
行政書士相談	奇数月第3木曜日	13件(9件)
合 計		367件(321件)

- ① 市内相談機関との連携・協力・意見交換会の開催 . . . . . 5月22日
- ② ふれあい総合相談所の運営に関する広報
  - ア 福祉のひろばへの定期的な相談事業の記事掲載 . . . . . 6回(6回)
  - イ 市民向け啓発講演会の開催 . . . . . 7月17日

(3) 広報・啓発活動

- ① 広報イベント
  - ア わいわいがやがやフェスティバル開催：6月29日 . . . . . 来場者938人(805人)
  - イ おもちやフェスティバルの開催：12月7日 . . . . . 来場者411人(603人)
- ② ホームページやSNS等を活用した地域福祉・ボランティア情報の発信
  - ア ホームページの活用 . . . . . 3月31日現在アクセス累計 17,837件(10,926件)
  - イ FACEBOOKページの運用 . . . . . 3月31日現在アクセス累計 17,467件(11,057件)

(4) 福祉団体等への活動支援

事務局業務の委託を受け、各団体の運営を支援した。

- ① 柏崎市老人クラブ連合会
- ② 柏崎市手をつなぐ育成会
- ③ 柏崎市母子寡婦福祉やまゆり会
- ④ 柏崎市ボランティア連絡協議会
- ⑤ その他福祉関係団体

2 ボランティアセンター運営事業

(1) 運営体制の充実

- ① ボランティアセンター運営委員会の開催 . . . . . 4回(4回)
- ② ボランティアセンター運営委員先進地視察：10月28日 . . . . . 9人(7人)

(2) ボランティア活動の相談支援

- ① ボランティア活動を希望する個人・団体への相談及び支援 . . . . . 970件(1,247件)
- ② ボランティア登録、ボランティア保険加入手続きの受付及び保険料の一部助成

- ..... 92 団体 1,922 人、個人 119 人(84 団体 2,276 人、個人 116 人)
- (3) ボランティア体験講座
  - ① ボランティア体験月間
    - ア サマーチャレンジボランティア：7 月末～8 月 ..... 137 人(98 人)
    - イ 24 時間テレビチャリティ募金への参加協力：8 月 25 日 ..... 22 人(26 人)
- (4) ボランティア養成講座
  - ① ボランティア入門講座
    - ア すぐできる編：4 回開催(8 月 27 日、9 月 24 日、10 月 3 日、10 月 18 日) 延 83 人(19 人)
    - イ 災害支援ボランティア編：2 月 15 日 ..... 9 人
  - ② ボランティアコーディネーター養成講座：1 月 23 日 ..... 21 人(40 人)
- (5) ふくし・ボランティアの出前講座
  - ① ボランティア体験プログラム ..... 0 回(1 回)
  - ② 高齢者疑似体験や福祉講話等の出前講座の開催 ..... 1 回
- (6) 障がい理解講座 ..... 3 月 26 日開催予定。新型コロナウイルス感染予防のため中止(35 人)
- (7) ボランティア交流会の開催
  - ① ボランティア大交流会
    - ..... 3 月 8 日開催予定。新型コロナウイルス感染予防のため中止(40 人)
  - ② Miniミニ講座 ..... 11 回開催 延 110 人(11 回延べ 132 人)

### 3 災害支援活動事業

- (1) 柏崎地域生活応援事業(除雪ボランティア事業)
  - ① 地区民協、町内会長会、除雪会議への事業の周知 ..... 38 回(38 回)
  - ② 除雪ボランティアセンターの設置及び運営 ..... 12 月 2 日～2 月 28 日
    - ア 除雪ボランティア登録者 ..... 20 人【内訳：市内 15 人、市外 2 人、県外 3 人】  
(45 人【内訳：市内 25 人、市外 14 人、県外 6 人】)
    - イ 除雪ボランティア活動状況

除雪ボラ問合せ	活動件数	ボラ活動延べ人数	職員延べ人数
88 件(91 件)	0 件(19 件)	0 人(35 人)	0 人(14 人)

- ③ 除雪ボランティアコーディネーターの委嘱 ..... 4 人(4 人)
- ④ 除雪ボランティア活動者の紹介

南部	中・南鯖石	高柳	計
0 件 (8 件)	0 件 (2 件)	0 件 (9 件)	0 件 (19 件)

- ⑤ 落とし板の取り付け、取り外し事業 ..... 14 件(16 件)
- (2) 県内外で発生する自然災害等の復旧支援活動
  - ① 災害発生時のボランティアセンター設置 ..... 設置なし
  - ② 全国各地で発生する災害情報の収集及び発信 ..... 実施なし
  - ③ 被災地災害ボランティアセンターへの職員派遣 ..... 1 人
    - ア 長野県飯山市社会福祉協議会災害ボランティアセンター：10 月 18 日(金)～10 月 22 日(火)

### 4 ふれあい給食サービス事業

- (1) 毎日型給食サービスの実施
  - ① 対 象：調理が困難な 65 歳以上のひとり暮らし高齢者や障がい者世帯等
  - ② 目 的：食の確保と安否確認、孤独感の解消
  - ③ 配 達 日：年末年始及び祝日を除く毎日

- ④ メニュー : Aコース 550 円(おかず、ごはん、味噌汁) Bコース 450 円(おかずのみ)

配 達 日	月曜日～日曜日(祝日及び年末年始を除く) 延配達日数 311 日(348 日)
配 達 数	延べ 42,326 食 年間実人数 2,850 人 月平均人数 237.5 人 (延べ 50,741 食 年間実人数 3,307 人 月平均人数 275.5 人)

## 5 指定管理事業

### (1) 柏崎市高齢者生活支援施設結の里

- ① 入居部門(定員 25 人) . . . . . 3 月 31 日現在 19 人(21 人)

#### ア 季節行事の実施

- ・安全講話 : 4 月 19 日
- ・お花見ドライブ : 4 月 26 日
- ・笹団子を食べる会 : 6 月 16 日
- ・七夕のつどい : 7 月 13 日
- ・敬老会 : 9 月 27 日
- ・ミニ運動会 : 10 月 25 日
- ・秋の食事買い物回 : 11 月 19、22 日
- ・クリスマス : 12 月 21 日
- ・新年会 : 1 月 4 日
- ・豆まき : 2 月 7 日
- ・おひなまつり : 3 月 6 日

### ② 施設管理

- ア 交流室利用回数 . . . . . 268 回、延 2,002 人(265 回、延 2,155 人)
- イ 調理室利用回数 . . . . . 263 回、延 1,942 人(258 回、延 1,937 人)
- ウ サロン利用人数 . . . . . 2 階集会室延 2,480 人、3 階集会室延 1,532 人  
(2 階集会室延 2,062 人、3 階集会室延 2,199 人)

### (2) 高齢者冬期共同住宅ひだまり(定員 8 人 11 月～4 月) . . . . . 0 人(1 人)

### (3) 柏崎市西山町いきいき館

- ① 事業内容 : 利用許可、設備の維持管理、貸館事業の実施

#### ② 柏崎市西山町いきいき館年間利用状況

いきいきホール	食の広場(調理室)	わくわく広場	かたくり(集会室)
5,028 人(6,728 人)	488 人(689 人)	1,294 人(1,771 人)	260 人(394 人)
ゆきわり(集会室)	つばき(集会室)	第 1 研修室	第 2 研修室
243 人(382 人)	194 人(162 人)	1,555 人(1,874 人)	674 人(632 人)
ボランティア室	福祉工房	相談室	健康づくり広場
40 人(47 人)	257 人(338 人)	40 人(16 人)	47 人(192 人)
その他			合計
1,298 人(997 人)			11,418 人 (14,222 人)

使用料金徴収額 . . . . . 44,320 円(115,660 円)

## 6 共同募金配分金事業

### (1) 一般募金配分金事業

- ① 赤い羽根パートナーミーティングの開催 : 8 月 27 日 . . . . . 210 人(240 人)
- ② 新一年生お祝い事業を実施した . . . . . 市内小学校新生に鉛筆贈呈 586 人(625 人)
- ③ 街頭募金への協力 : 10 月 1 日 . . . . . 102,941 円(108,007 円)
- ④ 地区コミュニティ祭り(7 地区)へたいやき屋台等を出店し共同募金事業の PR に協力した。
- ⑤ 名入れカレンダー製作・配布 . . . . . 製作 2,650 本

### (2) 歳末たすけあい募金配分金事業

- ① おせち料理配達事業 . . . . . 2,324 食(2,750 食)

## 7 かしわざきめぐりあい事業 【新規】

- (1) 実行委員会の運営 . . . . . 3回
- (2) 出会いイベントの開催
  - ① かしわざきで恋するクリスマスパーティー：12月21日 . . . . . 参加者20名 マッチング3組
  - ② かしわざきほろ酔いコン . . . . . 3月21日開催予定が、新型コロナウイルス感染予防のため中止

## ○生活支援係

### 1 生活困窮者自立支援事業

- (1) 生活困窮者自立支援事業の受託
  - ① 困窮者からの相談及び包括的に対応する自立相談支援事業の実施と事業周知
    - ア 相談者実数 . . . . . 221人(235人)
    - イ 相談対応延回数 . . . . . 2,696回(2,936回)
  - ② 家計相談支援事業、就労準備支援事業、子どもの学習・生活支援事業の実施
    - ア 家計相談支援事業利用者 . . . . . 78人(79人)
    - イ 就労準備支援事業利用者 . . . . . 0人(2人)
      - (ア) フリースペースぶらっと開催 . . . . . 22回(24回)
      - (イ) 延べ当事者参加数 . . . . . 125人(91人)
    - ウ 子どもの学習・生活支援事業の実施
      - (ア) 訪問型利用者 . . . . . 18人、延569回(15人延べ452回)  
※3月2日以降は、新型コロナウイルス感染予防のため訪問中止
      - (イ) 集合型学習支援  
夏・冬休み、こども食堂 . . . . . 30日、延134人(44日延べ260人)  
※春休みは、新型コロナウイルス感染予防のため中止
      - (ウ) 協力員登録者数 . . . . . 21人(27人)
  - ③ ひきこもり、孤立ケース等の相談、援助 . . . . . 19人
- (2) 生活福祉資金貸付事業の受託
  - ① 借入希望者への相談対応
    - ア 生活福祉資金相談件数 . . . . . 103件(70件)
    - イ 貸付件数 緊急小口資金 . . . . . 申し込み1件(結果待ち)
    - 生活福祉資金 . . . . . 0件
    - 緊急小口資金(特例貸付) . . . . . 申し込み7件(結果待ち)
    - 生活福祉資金(特例貸付) . . . . . 0件
  - ② 滞納者への償還通知(連絡) . . . . . 13件償還なし
- (3) 自殺予防のための相談支援体制の強化
  - ① 保健所及びハローワークと協同によるワンストップ総合相談会の開催
    - ア こころとくらしの総合相談会 . . . . . 主催者判断で今年度は実施されず
  - ② 関係機関との連携
    - ア 関係機関とのケア会議・打合せ . . . . . 123回(143回)

### 2 日常生活自立支援事業

- (1) 日常生活自立支援事業の推進
  - ① 利用者個々の生活にあったアセスメントとサービスの提供
    - ア 新規契約 . . . . . 30人(41人)
    - イ 契約終了 . . . . . 34人(26人)
    - ウ 契約に至らない相談 . . . . . 16人(20人)
    - エ 3月31日現在利用者数 . . . . . 179人(181人)

- ② 虐待ケースの相談、援助
  - ア 上記新規契約のうち虐待や搾取から保護するための契約(再掲) . . . . . 2人(7人)
  - イ 3月31日現在利用者数(再掲) . . . . . 6人(21人)
- ③ 地域包括支援センターや障害者等相談支援事業所、居宅介護支援事業所等の連携
  - ア ケア会議の参加 . . . . . 141回(190回)
- ④ 新潟県社会福祉協議会日常生活自立支援事業の市町村社協事業への移行
  - ア 新潟県社会福祉協議会日常生活自立支援事業利用者(3月31日現在) . . . . . 5人(5人)
  - イ 専門員訪問 . . . . . 21回
  - ウ 研修会等 . . . . . 3回

### 3 成年後見制度事業

- (1) 成年後見制度普及啓発事業の受託
  - ① 成年後見制度に関する相談対応 . . . . . 35件(43件)
  - ② 親族申立、市長申立の手続き支援 . . . . . 19件(14件)
  - ③ 成年後見制度を周知するための研修会の開催や広報
    - ア 金融機関情報交換会：2月6日 . . . . . 16人
    - イ 成年後見制度研修会 . . . . . 3月13日開催予定が、新型コロナウイルス感染予防により中止
- (2) 市民後見人が活動しやすい体制の整備
  - ① 第4期市民後見人養成講座の開催
    - ア 日程 6/22 6/25 7/4 7/9 7/20 7/30 8/8 8/24 8/27 9/3 9/7 10/8
    - イ 参加者及び修了者 . . . . . 参加者 16人  
修了者 15人
  - ② 市民後見人の活動団体を立ち上げるための体制整備
    - ア 市民後見定例会 . . . . . 11回、延べ182人
    - イ 研修会：12月10日 . . . . . 22人  
講師 品川区社会福祉協議会成年後見センター 北 洋樹 氏  
NPO 法人東京市民後見サポートセンター 宮地 幹子 氏
- (3) 身寄りのない方を支援する仕組みづくりのためのワーキング開催
  - ① 成年後見ワーキング . . . . . 10回、延べ140人
  - ② 身寄りのない方の支援を考える勉強会  
. . . . . 3月5日開催予定が、新型コロナウイルス感染予防のため中止
- (4) 成年後見制度利用促進基本計画における中核機関設置に向けた準備
  - ① 成年後見制度訪問検討会：10月7日

### 4 法人後見事業

- (1) 法人後見事業の実施
  - ① 法人後見運営委員会の開催 . . . . . 2回(3回)
  - ② 法人後見の受任
    - ア 新規受任 . . . . . 2件(4件)
    - イ 終了 . . . . . 0件(2件)
    - ウ 3月31日末現在受任件数 . . . . . 24件(22件)
  - ③ 法人後見事業の支援員として活動する市民後見人のバックアップ
    - ア 市民後見人の活動 . . . . . 3月末23人(19人)

### 5 地域移行等支援事業

- (1) アパート生活を通して、社会生活体験機会の提供と地域生活移行への支援 (アパート3室)
  - ① 施設や病院に長期間入所・入院する障がい者等の地域生活への移行準備 . . . . . 4人(4人)
  - ア 実利用人数 . . . . . 4人(4人)

イ	総利用日数	28泊(116泊)
②	生活困窮者等の緊急的な支援としての活用	12人(17人)
ア	ホームレスや生活保護利用までの支援	4人(9人)
イ	虐待やDVからの保護	全8人、内DVからの保護3件(8人)
ウ	総利用日数	756泊(697泊)
	総利用日数	784泊(813泊)

## ○こども支援係

### 1 柏崎市立児童クラブ運営受託事業

#### (1) 事務局機能の強化及び支援員の資質向上

職員の離職が多く、安定した運営に苦慮した。事務局機能の強化については、令和2年度、引き続き取り組む必要がある。

##### ① 職員研修の実施

ア	甲種防火管理者講習：5月16日、17日	3名
イ	応急手当講習会（救命入門コース）：6月10日	47名
ウ	発達特性のあるこどもの対応について：7月19日	41名
エ	食物アレルギーとエビペン使用について：6月26日	26名
	9月4日	25名
オ	新潟県学童保育講座：11月17日	3名
カ	多様化する児童を取り巻く生活環境の視点から：11月21日	46名
キ	新潟県放課後児童支援員研修会	
	(ア)「障害のある子どもの理解」：10月9日	5名
	(イ)「特に配慮を必要とする子どもの理解」：11月1日	3名
	(ウ)「子どもを理解するための基礎知識」：11月11日	6名
	(エ)「子どもの発達理解」：12月10日	9名
ク	不審者対応研修会：2月5日	61名
ケ	放課後児童支援員認定資格研修：10～12月（全8回）	15名が資格取得

#### (2) 柏崎市から受託した22児童クラブの運営

新たに受託した9か所(剣野第一、剣野第二、田尻第一、田尻第二、新道、枇杷島第一、枇杷島第二、日吉、柏崎)を含む22か所の児童クラブを運営し、年間を通じて159,090人(前年度79,540人)の児童を受け入れることによって、児童の健全育成を図ることができた。

児童クラブの中には、支援が必要な児童が在籍しているクラブも多く、支援員が対応に苦慮する場面もあったが、児童の状況に合わせた個別の対応を実施することで、安全な児童クラブ運営に努めた。

新型コロナウイルス感染症による学校閉校時の児童クラブ開設は、三密状態解消のために出来る限りの感染症対策を施して実施した。

##### ①クラブ別利用児童の状況

※( )内は30年度の実績。登録者数は、令和2年3月末時点。(人)

クラブ名	定員	登録者	年間開設日数	内訳						合計
				1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
比角第一 単位A	80	77	253日	4,380	4,766	1	1	0	0	15,047 (17,294)
比角第一 単位B			251日	0	0	3,899	1,979	21	0	

比角第二	29	24	290日	1,680 (1,976)	1,602 (1,158)	952 (1,335)	755 (505)	54 (179)	3 (141)	5,046 (5,294)
東部	100	42	290日	2,593 (1,993)	1,937 (3,655)	3,074 (1,178)	983 (1,519)	435 (135)	0 (1)	9,022 (8,481)
剣野第一 【新規受託】	62	31	290日	3,058	1,964	479	490	36	0	6,027
剣野第二 【新規受託】	67	39	253日	2,918	2,839	1,636	1,046	14	61	8,514
半田第一	49	37	290日	3,095 (3,027)	2,266 (3,155)	2,051 (2,112)	688 (502)	229 (0)	0 (0)	8,329 (8,796)
半田第二	90	40	253日	3,235 (2,038)	2,182 (2,313)	2,043 (2,088)	523 (79)	0 (0)	0 (0)	7,983 (6,518)
田尻第一 【新規受託】	76	56	290日	3,424	3,872	2,680	1,021	641	138	11,776
田尻第二 【新規受託】	74	55	252日	2,925	3,611	3,133	916	360	13	10,958
新道 【新規受託】	104	26	290日	1,411	2,437	607	977	136	0	5,568
枇杷島第一 【新規受託】	58	36	290日	3,290	598	2,358	736	502	0	7,484
枇杷島第二 【新規受託】	72	38	253日	2,172	1,522	2,345	1,920	27	0	7,986
荒浜	44	44	290日	3,707 (3,037)	2,422 (3,305)	2,760 (216)	0 (867)	43 (19)	0 (0)	8,932 (7,444)
北鯖石	36	30	290日	2,543 (3,334)	2,352 (1,078)	787 (1,416)	803 (832)	129 (517)	66 (0)	6,680 (7,177)
日吉 【新規受託】	36	33	253日	2,178	1,937	770	1,344	117	0	6,346
柏崎 【新規受託】	94	81	290日	4,619	6,253	2,412	1,103	568	377	15,332
鯖石	56	16	290日	419 (1,628)	1,595 (486)	353 (1,339)	981 (548)	280 (0)	0 (92)	3,628 (4,093)
大洲	31	18	253日	977 (1,183)	1,278 (1,759)	1,476 (699)	223 (36)	0 (9)	0 (0)	3,954 (3,686)
中通	19	11	290日	194 (1,928)	1,193 (760)	906 (657)	241 (50)	31 (0)	0 (0)	2,565 (3,395)
北条	30	16	290日	1,349 (780)	840 (781)	413 (702)	354 (608)	0 (645)	210 (0)	3,166 (3,516)
米山	17	7	290日	185 (482)	453 (374)	220 (664)	236 (180)	171 (182)	123 (217)	1,388 (2,099)
鯨波	40	16	255日	1,013 (415)	378 (882)	794 (586)	610 (655)	564 (0)	0 (0)	3,359 (2,538)
合計	1,264	773	6,336日	51,365 (21,821)	48,297 (19,706)	36,149 (12,992)	17,930 (6,381)	4,358 (1,686)	991 (451)	159,090 (79,540)

## 2 こども食堂・地域食堂の推進及び拡充

### (1) こども食堂・地域食堂の実施

- ① 社会福祉協議会主催 会場：柏崎市総合福祉センター  
開催回数 10回、参加者 377人 スタッフ 78人 学習ボランティア 15人  
(開催回数 12回、参加者 265人 スタッフ 104人 学習ボランティア 33人)
- ② 共同開催  
ア 比角こども祭り：8月4日 . . . . . 参加者 65人  
イ 北園町こども食堂：8月22日 . . . . . 参加者 40人、2月13日 参加者 50人

### (2) こども食堂・地域食堂研修会及び連絡会の開催

- ① こども食堂ミーティング：12月7日 . . . . . 10人(26名)
- ② こども食堂連絡会：7月5日 . . . . . 9人

### (3) こども食堂・地域食堂への立上げ助成の実施

団体名	助成年数	助成額	開催地区
陽気なごはん実行委員会	2年目	60,000円	寿町
半田こども食堂	2年目	60,000円	半田

## 3 福祉教育推進事業

### (1) 福祉教育推進プログラムの活用と周知

- ① 小・中学校の教員への福祉教育推進プログラム活用提案の展開  
ア プログラムの実施  
. . . . . 小学校 10校 延べ21回、中学校 7校 延べ16回、高校1校 1回
  - ② 福祉教育推進プログラムの効果的な実施  
ア 校長会への提案  
イ 福祉教育サポーターの協力を得ながら、きめ細やかなプログラムを実施
  - ③ ボランティア推進校助成事業の活用提案の展開 . . . . . 助成総額 400,000円 14校  
(助成総額 390,000円 10校)
- (2) 福祉教育プログラム体験講座 . . . . . 開催なし

## ○高柳支所・西山支所

### 1 高柳支所

#### (1) 高柳地域における地域ケア会議への参加

- ① ミニケア会議への参加 . . . . . 10回(14回)

#### (2) 地域懇談会等地域内の生活課題の把握

- ① 高柳地区民生委員・児童委員協議会への参加 . . . . . 8回(10回)
- ② 高柳を育てる会への参加 . . . . . 3回(3回)
- ③ 情報交換会の開催「地域がグッと面白くなる情報交換会」：1月11日 . . . . . 55名

### 2 西山支所

- (1) 買い物支援付きコムサロン西山の実施：毎週水曜 . . . . . 164人(214人)
- (2) 開放型サロン、草水ひろばの実施：毎週水曜 . . . . . 193人(39人)
- (3) ふれあい子育てサロンの実施：毎週月曜・金曜 . . . . . 402人(444人)
- (4) 親子を対象とした交流会の開催  
① 健康づくり増進事業 足育講座の開催：2月20日 . . . . . 68人(12人)



## ◎在宅福祉サービス事業部門

(訪問事業課・介護支援事業課・障害福祉事業課・通所介護事業課)

### ○訪問事業課(訪問介護係・訪問看護係)

#### ○ 訪問介護係(訪問介護事業所・訪問入浴介護事業所)

自立支援の促進と生活の質の向上を目標に、利用者が健やかで安心して在宅生活を過ごせるよう日常生活の支援に努めた。

また組織体制を見直し、訪問入浴係を廃止し訪問介護係へ組み入れ、訪問介護事業を提供する既存の3チームに、訪問入浴介護事業の1チームを加えた4チーム体制で、各チームで連携してサービスの調整を行い、効率的な事業所運営を行った。また、人と人との関わりを大切にしたい、明るく誠実な質の高いサービス提供に努めた。

#### 1 サービス提供体制の充実・強化

- (1) サービス提供責任者による訪問介護員への指導及び業務管理を実施した。
- (2) 訪問手順書及びサービス提供マニュアルの定期的な見直しの実施、定例検討会の実施・・・6回
- (3) 介護者等に対する介護に関する相談・指導を実施した。
- (4) 訪問計画の作成及び稼働率の向上・・・4チームで横断的に訪問を実施し、稼働率の向上に努めた。
- (5) 関係機関との連携及びネットワークを活用し、情報共有に努め利用者に対し有効な支援が提供できた。
- (6) 訪問入浴介護事業の利用者に対する質の高いサービスの提供を実施した。
- (7) 訪問入浴介護事業利用者数が減少しているため、稼働車両を1台にし、効率的な運営を行った。  
総合事業訪問型サービス A におけるサービス提供は、訪問介護からの移行ケースに限定して利用受け入れを行い、効率的に訪問できるよう各チームで対応した。

#### 2 職員の資質向上

- (1) 一人ひとりの技能に応じた研修計画の作成と実施
  - ① 定例の係内研修の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 月1回 計12回実施  
内容：事故対応手順の確認・利用者の緊急時の対応、法令遵守・職業倫理・個人情報保護、調理実習(常備菜で作れる簡単時短おかず)、事故再発防止、高齢者虐待(ゲートキーパー)、介護技術、救急法、ノーリフト
- (2) 県内外の研修会への参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・訪問介護 延べ19人、訪問入浴 1人
- (3) 自己点検振り返りシートの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2月
- (4) リーダー会議及びサービス提供責任者会議の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24回
- (5) 他課との合同研修会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 新型コロナウイルス感染予防のため中止

#### 3 事故防止への取り組み

- (1) 苦情対応・介護・車両事故事例、ヒヤリハット事例の収集・分析を行った。
- (2) 事故防止策及び緊急時対応マニュアルの見直しの実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4月、9月
- (3) 緊急時対応についての研修実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4月、12月
- (4) 訪問入浴車両積載ボイラー及び備品の点検を強化し、事故防止に努めた。

#### 4 広報活動等の実施

- (1) 利用者を対象とした定期的なヘルパー情報紙の発行 . . . . . 5月、11月、1月発行
- (2) 利用者・介護者へのサービス満足度調査の実施  
 . . . . . 訪問介護：2月／配布 123・回収 111・回収率 90.24%  
 訪問入浴：1月／配布 13・回収 12・回収率 92.3%
- 両事業所とも、概ね満足、ほぼ満足との回答をいただいているが、少数ではあるが不満を感じる回答もあったため、利用者・家族の思いを汲み取り、改善に努めた。

#### 5 訪問実績

※( )内は 30 年度の実績

- (1) 総合事業(要支援 1・2、事業対象者)

年間総合事業・ 介護予防訪問介護相当サービス利		年間総合事業・ 訪問型サービス A 事業利用者	
派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数
227 件 (175 件)	1,548 件 (1,081 件)	461 件 (592 件)	2,225 件 (2,935 件)

- (2) 訪問介護(要介護 1～5)

年間派遣世帯数	1,915 件(2,240 件)
年間派遣延件数	28,923 件(32,271 件)

- (3) 法定外サービス

年間派遣世帯数	34 件(60 件)
年間派遣延件数	44 件(78 件)

- (4) 訪問介護実習同行訪問

受入人数	1 人(2 人)
受入延日数	2 日(6 日)

- (5) 訪問入浴介護

年間利用者実人数	186 人(257 人)
年間延べ利用件数	832 件(1,154 件)

- (6) 障害者訪問入浴サービス

年間利用者実人数	24 人(24 人)
年間延べ利用件数	211 件(210 件)

#### ○訪問看護係(ゆたか訪問看護ステーション)

リハビリニーズへの対応と新規依頼に円滑に 대응するため、職員を増員して新年度をスタートした。新規依頼については断らず、受入れを積極的に行った。体調確認、リハビリ、認知症の方や医療処置の必要な方など、様々な利用者のニーズに応じたサービスを提供することができた。

## 1 サービス提供体制の充実・強化

- (1) 利用者の病状や状態の把握及び適切な看護サービスの提供を実施した。
- (2) 利用者への療養指導・介護者に対しての介護指導を実施した。
- (3) 個別リハメニューの提供とリハビリ提供体制の強化を図った。
- (4) 関係機関との連携及びネットワークを活用し、積極的に情報交換を実施した。
- (5) 効率的な訪問計画の作成及び稼働率の向上を図った。

## 2 職員の資質向上

- (1) 一人ひとりの技能に応じた研修計画を作成し、実施した。
- (2) 県内外研修への参加 . . . . . 県外研修 1 人、県内研修 9 人
- (3) 自己点検振り返りシートの活用 . . . . . 3 月
- (4) 他課との合同研修会の実施 . . . . . 新型コロナウイルス感染予防のため中止
- (5) 係内研修の実施 . . . . . 12 回  
内容：緊急対応・個人情報の取扱いについて、認知症の研修、フットケア研修、服薬ゼリー実演  
介護保険・医療保険について、内服管理についての検討、薬剤情報の記録について、ケース検討  
2 回

## 3 事故防止への取り組み

- (1) 苦情対応、介護・車両事故、ヒヤリハット事例の収集・分析 . . 毎月係内会議にて検討実施
- (2) 事故防止策及び緊急時対応マニュアルの見直し . . . . . 4 月
- (3) 緊急時対応についての研修実施 . . . . . 4 月

## 4 広報活動等の実施

- (1) 利用者・介護者へのサービス満足度調査の実施：令和 2 年 3 月(配布 119・回収 110・回収率 92%)  
おおむね満足という評価が多かった。アンケート結果を回答者に公表し、更なるサービスの改善に努めた。

## 5 訪問実績

年間介護予防利用者		年間要介護利用者		年間医療保険利用者	
派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数
204 件 (190 件)	966 件 (797 件)	1,036 件 (964 件)	4,611 件 (4,200 件)	291 件 (302 件)	1,419 件 (1,302 件)

## ○介護支援事業課

(介護支援第一・二係・地域包括支援係(柏崎市西地域包括支援センターまちなか・あかさかやま))

介護支援事業課では、地域包括ケアシステムの構築に向け、個々の相談者に寄り添い、必要な支援やサービス提供を行うとともに、地域の特性に応じた相談援助を行った。また、総合事業の適切な対応と自立支援型ケアマネジメントの推進を図り、専門職としての資質や問題解決能力の向上を目指し、各種研修や事例検討に取り組んだ。

西地域包括支援センターあかさかやまは、赤坂山デイサービスセンター内に移転して 1 年が経過したが、高齢者の相談窓口として地域に根付いた活動を行った。

## ○介護支援第一・二係（居宅介護支援事業所）

居宅介護支援事業所は、民間事業所が担当しづらい中山間地域であっても本会の使命と考え、市内全域を担当エリアとして任った。ケアプランの作成を通して、サービス提供事業者等との連絡調整を行い、要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して自立した生活が継続できるよう支援した。また、利用者の意向に添いながら、相談援助の専門職として、家族を含めたその人の生活全般の課題やニーズに対応できるよう利用者個々の状況に応じて支援を行った。

### 1 法令を遵守したケアマネジメント業務の遂行

- (1) 利用者及び家族の意向を尊重した適切なアセスメント及びケアプラン作成を、関係機関と連携しながら行った。
- (2) 個人情報の取り扱いについては、適切な取り扱いを徹底し業務を遂行した。
- (3) 市が主催する自立支援検討型地域ケア会議は終了し、介護予防の視点で取り組む地域ケア個別会議として実施された。
- (4) 自己点検表を活用し、法令を遵守したケアマネジメント業務が遂行されているか自己点検を行うとともに、月1回職員間でケアマネジメント業務の内部チェックを実施した。
- (5) 業務改善の取り組み・・・・・・・・・・ケアマネジメントマニュアルを策定し、業務を標準化した。
- (6) 効率的な業務手順を検討するための業務改善会議の開催・・・・・・・・・・年5回

### 2 利用者のニーズを重視したサービスの確立

- (1) 市内サービス事業者のパンフレット等を収集し、利用者がサービス選択を行う際の参考資料として活用した。また、公正、中立性を確保するため、利用者は複数の事業者の紹介を求めることができることを説明し、利用者の意向に沿ったサービス選択ができるよう支援した。
- (2) 適切な助言・指導を行うための主任介護支援専門員の配置・・・・・・・・4人(令和2年3月末)
- (3) 24時間の連絡体制を整備し、利用者、家族からの相談受付や緊急時対応を実施した。・・・・・・・・電話対応等件数累計730件(707件)
- (4) 事業所内で共有する必要がある利用者の情報や、市内の介護サービス事業所等に関する情報を共有する会議を毎日開催した。・・・・・・・・共有した利用者情報 延べ223件(226件)

### 3 困難ケースに対応できる体制の整備

- (1) 主任介護支援専門員資格を有する4人の職員を中心に、様々な困難を抱えるケースに関する対応を検討する事例検討会を開催した。・・・・・・・・・・3回  
また、市内地域包括支援センターが主催する事例検討・研修会に出席し、他事業所の介護支援専門員と事例を通じて困難ケースへの対応を検討した。・・・・・・・・・・1回
- (2) 主任介護支援専門員が中心になり、事例検討会のデータを収集、整理を行った。
- (3) 困難ケースに関わる関係機関との情報共有、連携を密に行い、適切なケアマネジメントを実施した。
- (4) 他課合同の課内研修会・・・・・・・・・・新型コロナウイルス感染予防のため中止

### 4 資質向上の取り組み

- (1) ケアマネジャーに関する満足度アンケートを実施・・・447通配布、311通回答(回収率69.5%)  
概ね満足という結果を得られた。回答者にアンケート結果を報告した。
- (2) 県内外の研修等へ積極的に参加し、その後復命研修を実施することで、全職員の資質向上に努めた。・・・・・・・・・・県外2名、県内171名(延べ173人)
- (3) 係内研修の開催・・・・・・・・・・12回  
事例研究「本人の真意が分からず、ケアマネも家族も振り回されているケース」「認知症のケースへの関わり方」「本人の活動と支援者の思いに差がある50代の方への支援」  
事例検討「うまくサービスが繋がらずケアマネが困っているケース」  
接遇・法令遵守実技研修「対人援助技術(面接技法)を高めるためのロールプレイ」

講義研修「加算算定要件」、「給付管理と介護報酬請求について」、「訪問介護（生活援助中心型）の利用について」、外部講師研修「年金制度」

外部研修復命：「接遇スキルアップ講座 信頼される『動作』『表情』『話し方』」

- (4) 主任介護支援専門員資格を取得するための研修に参加し、2人が資格を取得した。
- (5) 新潟県介護支援専門員実務研修見学実習機関として登録し、実習生を受入れ、主任介護支援専門員4人が実習指導を行った。・・・・・・ 受け入れ人数 1人 受入日数 3日

## 5 事故防止への取り組み

- (1) 報告されたヒヤリハット事例を職員間で共有するとともに、再発防止策の検討を行った。また、苦情には、苦情対応マニュアルに沿って状況や事実確認を行ったうえで、利用者及び家族への謝罪と今後の対応や再発防止策等を検討し、説明を行った。
- (2) 週1回全職員で行う車輛点検と、運行記録表に基づく車両乗降時の点検を実施し、故障等の早期発見及び事故防止に努めた。
- (3) 事故発生時には速やかに必要な対応を行い、再発防止に向けた改善項目を協議し、事業所内に周知した。
- (4) 緊急時対応の知識を深めるため、新潟県介護支援専門員協会が主催する災害時対応研修会に5人が出席した。
- (5) 火災発生時の対応について、事業場で避難訓練を実施した。
- (6) 安否確認対象者の緊急連絡先を把握し、管理した。

## 6 他職種連携

- (1) 関係機関への提言、本会各部署への情報提供及び地域福祉課との協力・連携を行った。

## 7 居宅介護支援事業所実績

- (1) 請求実績 ※( )内は30年度の実績

年間居宅介護支援利用者	6,509人(7,050人)
年間介護予防支援利用者	403人(283人)
年間介護予防ケアマネジメント利用者	338人(228人)
介護支援専門員一人当たりの担当者数	36.9人(38.1)

- (2) 職員の資質向上

事例検討会	3回(6回)
係内研修	12回(12回)
介護支援専門員更新研修	7人(3人)
主任介護支援専門員更新研修	0人(1人)
主任介護支援専門員取得	2人(1人)
県内外研修参加者(延べ)	173人(90人)

県外研修 1月12日 東京 信頼される「動作」「表情」「話し方」:主催 日総研  
 3月14日 東京 「ケアマネジャーによる合意形成(コンセンサス)の進め方8つの要点」  
 ・・・・・・・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

○ 地域包括支援係(柏崎市西地域包括支援センターまちなか・あかさかやま)

高齢者全般の身近な相談窓口として、高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、包括的支援事業・介護予防ケアマネジメント事業・指定介護予防支援事業を適切に実施した。

4月1日付で「柏崎市西地域包括支援センターくじらなみ」を赤坂山デイサービスセンター内に移転して、「柏崎市西地域包括支援センターあかさかやま」を開設し、更に施設との連携及び利便性の向上と地域に根付いた相談体制を強化した。

また、「聴くこと・寄り添うこと・地域と共に歩むこと」をモットーに、介護・医療・福祉の関係者や日常生活支援に携わる地域住民等の連携の拠点として、地域独自の社会資源やネットワークを構築し、多様な高齢者支援が包括的に提供される「地域包括ケアシステム」体制の推進に努めた。

1 包括的支援事業

公益性・地域性・協働性の3つの基本的視点に立脚した事業運営を行った。

(1) 総合相談支援事業

① 総合相談支援事業相談者数 ※ ( ) 内は30年度の実績

	まちなか	あかさかやま
実人数	485人(446人)	420人(310人)
延人数	494人(448人)	508人(316人)

② 高齢者現況調査の実態把握 . . . . . まちなか16件、あかさかやま44件

(2) 権利擁護事業

- ① 同じ家庭内で別の問題も抱えている等、多問題・困難事例が増加した。
- ② 高齢者虐待防止ネットワーク連絡会へ参加した。
- ③ 消費者被害の防止では、コツコツ貯筋体操の会場やサロンを訪問し、啓発活動を実施した。  
消費生活センターと共働で活動するなど、必要に応じて消費生活センターからの最新情報を地域に発信した。また、消費者契約トラブルに係る合同意見交換会や金融機関との情報交換会に出席し、関係機関との情報共有や連携強化を図った。
- ④ 成年後見制度及び日常生活自立支援事業では、包括通信の発行やくらしのサポートセンター等に出向きチラシ等配布し、啓発活動を行った。

権利擁護事業対応件数	まちなか	あかさかやま
虐待(疑い含む)への対応	61回(52回)	92回(47回)
成年後見制度の活用支援	7回(3回)	6回(20回)
日常生活自立支援事業活用支援	31回(29回)	2回(7回)

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- ① 支援困難事例等への指導・助言では、高齢者の多様な課題(心身の状態、生活環境等)のアセスメントを行い、ケースに対し支援を行った。  
利用者の認知症に絡んだ支援や、世代を超えてその世帯が抱える問題が複合的で、介護保険事業だけではマネジメント困難な事例等に対する介護支援専門員への支援を行った。
- ② 市内の介護支援専門員を対象に事例研究会を実施した。
- ③ 介護支援専門員の気づきを促すための自立支援にむけての介護予防地域ケア会議を、まちなかで2件、あかさかやまで2件開催した。
- ④ 介護支援専門員連絡会へ参加
- ⑤ 圏域内の介護保険サービス事業所(地域密着型サービス事業所)の運営協議会に参加した。
- ⑥ レンタルのみの利用者に対し、購入や住宅改修を勧める等介護給付費用適正化に向け、介護支援専門員への支援を行った

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業対応件数	まちなか	あかさかやま
困難事例対応(CMあり)	171回(112回)	125回(110回)
困難事例対応(CMなし)	273回(189回)	159回(82回)
事例検討会・事例研究会への参加	4回(9回)	9回(6回)
介護支援専門員連絡会の企画、参加	7回(9回)	2回(11回)
介護支援専門員研修会の企画、参加	1回(1回)	3回(1回)

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

- ① 地域ケア会議等を活用することで、地域におけるネットワークが前進した。
- ② 月1回の地域包括支援センター連絡会への参加。
- ③ 主任介護支援専門員がケアマネプロジェクトに所属し、2ヶ月に一度程度の会議に参加した。
- ④ 民生委員老人福祉部会及び地区民生委員協議会へ出向き、挨拶及び包括支援センターの活用方法について啓発を行った。
- ⑤ 地区担当保健師等との情報交換会に参加した。
- ⑥ 認知症関連事業では、もの忘れ連絡シートの活用、地域密着型サービス事業所での勉強会の企画・参加、オレンジカフェへの参加等を行った。
- ⑦ 認知症高齢者支援のための地域づくり(認知症サポーター養成講座の開催)を3月に企画したが、新型コロナウイルス感染拡大の為、延期となり、次年度に持ち越しとなった。
- ⑧ 在宅医療・介護連携の推進のための協力では、入退院連携シートを適宜活用し、連携に努めた。
- ⑨ 生活支援コーディネーターと連携した。
- ⑩ 2層協議体の設置に努めたが、現在まだ設置はできていない。
- ⑪ その他の取り組みとし、月1回弁護士との情報交換会を実施することで、個々の事例の相談の他、一般的な権利擁護について法律面からの情報を得ることができた。

項目	まちなか	あかさかやま
地域包括支援センター連絡会議	12回(12回)	12回(12回)
地域活動への参加	12回(25回)	15回(54回)
地域包括関係会議等	57回(31回)	69回(42回)
関係機関との会議等	66回(26回)	33回(32回)
認知症関連業務の実施	35回(27回)	6回(28回)
医療関係機関との会議への参加	5回(14回)	0回(9回)

(5) 地域ケア会議の実施

① 地域課題検討型地域ケア会議

ア 個別ケア会議

(ア) まちなか…駅前エリアで4件、北園町エリアで1件の計5回を実施

(イ) あかさかやま…剣野地区のケース1件を実施済。大洲地区のケース1件について3月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期となり現在も未実施

イ 圏域会議

(ア) まちなか…北園町エリアを重点地区とし、その中の一町内である柏木町にて実施

(イ) あかさかやま…鯨波地区を重点地区として3月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期となり現在も未実施

ウ モニタリング会議

- (ア) まちなか…東本町を対象としアンケートを実施
- (イ) あかさかやま…上米山地区でモニタリング会議を実施

② 自立支援検討型（介護予防）地域ケア会議

今年度より包括が実施主体となり実施した。

ア まちなか…北園町で1件、諏訪町で1件実施

イ あかさかやま…鯨波地区で1件、笠島地区で1件実施

項目	まちなか	あかさかやま
地域ケア会議の企画・開催	32回(36回)	15回(31回)

③ 西地域包括支援センター通信の発行

・・・・・・ まちなか4回（4月、9月、1月、3月）、あかさかやま3回（7月、10月、3月）

2 介護予防ケアマネジメント事業

- (1) 総合事業（訪問介護・通所介護）のみを利用する要支援者及び事業対象者へのケアマネジメント業務を実施した。
- (2) 総合事業利用希望者に対しての手続き等の支援を実施した。
- (3) 介護予防訪問介護・通所介護相当サービスの必要な方に対する確認書の作成を行った。
- (4) 指定居宅介護支援事業者への業務委託を行ったが、柏崎市内での介護支援専門員不足により受託事業者が減少している。

介護予防ケアマネジメント事業	まちなか	あかさかやま
年間介護予防ケアマネジメント総数	873件(803件)	532件(538件)
月平均介護予防ケアマネジメント自前作成	52件(43件)	29件(40件)
月平均介護予防ケアマネジメント委託作成	21件(24件)	15件(5件)
月平均介護予防ケアマネジメント作成総数	73件(67件)	44件(45件)

3 指定介護予防支援事業

- (1) 予防給付のみ、または、予防給付と総合事業サービスを組み合わせて利用する要支援者のケアマネジメントを実施した。
- (2) 介護予防訪問介護・通所介護相当サービスの必要な方に対する確認書の作成を行った。
- (3) 指定居宅介護支援事業者への業務委託を行ったが、柏崎市内での介護支援専門員不足により受託事業者が減少している。

指定介護予防事業	まちなか	あかさかやま
年間介護予防サービス計画作成数	686件(633件)	480件(450件)
月平均介護予防サービス計画自前作成	46件(38件)	13件(18件)
月平均介護予防サービス計画委託作成	11件(15件)	26件(19件)
月平均介護予防サービス計画作成数	57件(53件)	39件(37件)



#### 4 任意事業

- (1) 希望者に対し、住宅改修費支給に係る理由書の作成を行った。
- (2) 希望者に対し、福祉用具購入申請書の作成を行った。

任意事業	まちなか	あかさかやま
住宅改修支援事業：理由書作成	2件(8件)	1件(5件)
福祉用具購入費支給申請手続支援	4件(4件)	1件(4件)

#### 5 職員の資質向上

- (1) 県内外で開催される包括職員基礎研修、看護師交流研修、課題別研修、介護予防ケアマネジメント研修等へ積極的に参加し、業務に必要なスキルアップを図った。・・・ 県外2人県内122人
- (2) 係内研修の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 月1回 計12回  
内容：障害福祉サービス、年金制度、生活保護、きこえの勉強会(補聴器)、こころのゲートキーパー、相談と遺言、公営住宅について、接遇・法令遵守・プライバシー保護に関する研修、年間ふりかえり、事例検討3回
- (3) 介護支援係と合同の課内研修会を年2回実施した。

### ○障害福祉事業課(障害福祉サービス係、相談支援係、かしわハンズ)

#### ○ 障害福祉サービス係(居宅介護事業所)

障害福祉サービスでは、65歳を迎えることによる介護保険への移行、入院者が例年よりも多く、特に移動支援は、感染症の影響により利用中止が多数となった。その為、実施する4事業全てにおいて月平均派遣件数が昨年を下回る結果となった。

訪問件数は減少したが、利用者一人一人の障害特性やニーズに沿ったサービス提供が円滑に進められるよう、積極的に内外の研修に参加し、職員のスキルアップに努めた。

#### 1 サービス提供体制の充実・強化

- (1) サービス提供責任者による指導及び業務管理  
・・・・・・・・ サービス提供責任者4人を配置し、訪問介護員のスキルに応じた指導及び業務管理
- (2) 訪問手順書及びサービス提供マニュアルの定期的な見直し・・・・・・・・ 月1回の検討会開催
- (3) 介護者等に対し、療養や介護に関する助言・指導・・・・・・・・ 訪問時や電話等で適宜助言
- (4) 効率的な訪問計画の作成と稼働率の向上・・・・・・・・ 他係と連携し、稼働率の低下防止
- (5) 関係機関及び他職種との連携・・・・・・・・ 利用者の情報共有を図る為、他職種と連携
- (6) 緊急時訪問体制の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 緊急時の訪問なし
- (7) 同行援護従事者養成研修への参加及び資格取得・・・・・・・・ 常勤1人、非常勤2人

#### 2 職員の資質向上

- (1) 職員一人ひとりの技能に応じた研修計画の作成  
毎月定例の係内研修の実施  
内容：「身体介護」の事例検討、「法令遵守・職業倫理」、事故再発防止、ゲートキーパー研修、救急法「心肺蘇生 AED使用方法」、認知症の理解、調理実習、コミュニケーション法、ノーリフト研修会、個人情報保護
- (2) 難病支援に関するミニ研修等の実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 新型コロナウイルス感染予防のため中止
- (3) 課内研修の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 相談支援係と合同で月1回常勤会議を実施
- (4) 県内外の研修への参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 延べ5人

- (5) 他課との合同研修会の実施 . . . . . 新型コロナウイルス感染予防のため中止

**3 事故防止への取り組み**

- (1) 苦情対応・介護事故・車両事故事例、ヒヤリハット事例の収集・分析  
. . . . . 苦情処理報告、事故・ヒヤリハット報告により収集、分析を実施
- (2) 事故防止策等、緊急時対応マニュアルの見直し . . . . . 4月、8月
- (3) 緊急時に関する訓練の実施 . . . . . 12月

**4 広報活動等の実施**

- (1) 定期的なヘルパー情報紙の発行：年3回 . . . . . 5月、11月、1月発行
- (2) 利用者・介護者へのサービス満足度調査の実施：2月実施(配布47・回収41・回収率87.23%)  
おおむね満足という評価が多かったが、更に満足して頂けるサービスが提供できるよう改善を図り、サービスの質の向上に努めた。

**5 訪問実績**

- (1) 居宅介護事業 ※( )内は30年度の実績

年間派遣世帯数	783件(900件)
年間派遣延件数	7,909件(8,781件)

- (2) 同行援護

年間派遣世帯数	157件(153件)
年間派遣延件数	698件(774件)

- (3) 重度訪問介護

年間派遣世帯数	1件(3件)
年間派遣延件数	1件(3件)

- (4) 地域生活支援事業(移動支援事業)

年間派遣世帯数	217件(297件)
年間派遣延件数	545件(928件)

**○ 相談支援係(相談支援事業所おうぎまち)**

業務体制の変更もあり、積極的な新規受け入れは困難であったが、出来る範囲で受け入れを行った。一般相談支援者については、必要に応じてアセスメントを行い、計画相談に繋げることができた。介護保険への移行やサービス終了者も増えており、実績件数も減少している。

また、障害福祉サービスの福祉資源が不足している現状もあり、サービス調整が困難な事や、障害特性での対応に時間を要する事も多く、実績に反映しない支援の多さに苦慮している。

専門性の高い支援が実施できるよう各種研修に参加し、職員のスキルアップに努めた。

**1 サービス提供体制の充実・強化**

- (1) 指定一般相談支援の実施

- ① 地域相談支援(地域移行、地域定着支援) . . . . . 地域定着支援1件実施

ア 障がい者に対して地域移行のための住居の確保・就労等の相談支援

イ 地域生活を継続していくための関係機関との連携・連絡・支援の体制確保

. . . 居宅において単身で生活している対象者に常時の連絡体制を確保。緊急時対応はなし

- ② 基本相談支援

ア 障がい者の地域移行地域定着支援の利用のための窓口相談

イ 地域相談支援 . . . 障がいのある人の福祉に関する様々な問題について相談に応じ、必要な情報の提供、助言を行った。

(2) 指定特定相談支援の実施

① 計画相談支援

- ア 障害福祉サービスの利用を希望する障がい者への利用申請の支援
- イ アセスメントに基づくサービス等利用計画の作成
- ウ サービス提供事業所との連絡調整、モニタリングの実施
- エ 利用者の意向に沿ったサービスの利用支援
  - ・・・障害福祉サービスの申請にあたり障がい者の心身の状況、利用に関する意向等を勘案し、適切なアセスメントに基づくサービス等利用計画を作成し、その後のモニタリングを実施し、利用者の意向に沿った利用支援の提供に努めた。

② 基本相談支援

- ア 窓口相談者への必要な情報の提供、助言等の相談支援
- イ サービス利用を希望する障がい者に対する事業所との連絡調整
  - ・・・障害福祉に関する情報提供や助言を行い、各種サービスとの連絡調整などを行った。

(3) 指定障害児相談支援の実施

- ① 自立した生活や将来の社会参加を目指す上での必要な情報の提供や助言
- ② 行政及び関係機関との連携並びに必要な障害福祉サービス利用の推進
  - ・・・障がい児及び保護者の意向などを踏まえ、自立した生活や将来的な社会参加を目指し、必要な情報提供や助言を行い、必要な障害福祉サービスの利用ができるよう支援に努めた。

(4) 関係機関及び他職種との連携

- ・・・利用者状況を把握し関係機関、他職種との連携を図り支援に努めた。

2 職員の資質向上

- (1) 相談支援専門員初任者研修と現任研修への参加・・・・・・・・・・・・現任研修 1 人参加
- (2) 自立支援協議会などの参加・・・・・・・・・・・・サービス調整連絡会議、各部会に月 1～2 回参加
- (3) 県内外の各種研修の参加・・・・・・・・・・・・各種研修に随時参加、県外研修 1 人参加
- (4) 介護保険のケアマネジャーと情報交換する機会の設定及び介護保険への円滑な引継ぎ  
 ・・・・・・・・・・・・・・・・利用者 5 人を介護保険に円滑に引継いだ

3 事故防止への取組

- (1) 苦情対応・介護事故・車両事故事例、ヒヤリハット事例の収集・分析・・・・・・・・ 随時実施
- (2) 事故防止策及び緊急時対応マニュアルの見直し・・・・・・・・・・・・4 月
- (3) 緊急時に関する訓練の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・未実施

4 計画実績

- (1) 計画相談支援 ※( )は 30 年度の実績

相談支援専門員数	利用者契約数	実績件数
3 人(1 人兼務)(3 人)	127 件(132 件)	397 件(435 件)

- (2) 一般相談支援

相談支援専門員数	利用者契約数	実績件数
3 人(1 人兼務)(3 人)	1 件(契約なし)	3 件(請求なし)

○ かしわハンズ

就労継続支援 B 型事業においては、前年度の平均工賃支給額が報酬単価に反映され、平成 30 年度に比べて報酬単価は増額となったが、利用人員の変動により訓練等給付費の年間収入は予算に届かなかった。しかし、年度途中に、利用者 3 名が一般企業に就職する、新規利用者を 3 名受け入れる等の成果があった。

さらに、令和 2 年 1 月下旬頃からの新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い、販売場所から自粛を要請され、就労支援事業収入に大きく影響し、年間売上収入総額が予算を下回った。日中一時支援事業

では、利用者が少ないが、この事業を利用した結果、就労継続支援 B 型事業の利用に繋がった利用者があった。

## 1 就労継続支援事業 B 型の運営

### (1) 利用者数 3月31日現在

定員数	登録者数 (男性)	登録者数 (女性)	合計
20人	10人	13人	23人

### (2) 稼働日数及び利用状況 ※( )内は月平均

稼働日数	利用延人数
240日 (20日)	4,995人 (416.25人)

### (3) 支援計画の実施

#### ① 個別支援計画の作成状況

利用者一人一人の状況やニーズを把握し、利用者の意向を踏まえた支援計画を作成し、目標達成に向けて支援を行った。予定されているモニタリング以外でも少しでも変化があれば本人と随時面談を行い必要があれば計画の変更を行った。年齢や体調に合わせ、希望に沿った計画にした結果、利用者の状況は安定している。

#### ② 特定相談支援事業者との連絡調整

市内4カ所の相談支援事業所と連携した結果、他のサービスに繋がるなど、利用者の在宅生活の充実が図られた。

#### ③ 生活に関する相談・助言

利用者が相談しやすい環境を整え、必要に応じて面談を行い助言を行った。

#### ④ 社会的活動の支援(生活・相談及び余暇活動支援)

ア 社会見学旅行：9月19日～20日 . . . . . 34人(内職員8人)

働く人の販売配達の接客ノウハウや所作を学ぶこと、団体行動することで協調性を高め作業の流れを円滑にすること等、仕事に対する姿勢を学ぶと同時に、社会性を身につける訓練として実施した。福島方面(浪花屋製菓、絵付け体験他)へ見学旅行。

イ 絵手紙教室：毎月1回、全12回

かしわハンズ別棟多目的室にて実施。6月に東本町にある中部写真工業のショーウィンドウを借りて、作品を展示した。

ウ その他

行事名	開催日	実施場所	参加人数
カラオケ体験	12月6日	カラオケまねきねこ柏崎店	28人(内職員8人)
納涼会	7月19日	さん蔵柏崎店	32人(内職員9人)
お菓子作り	1月17日	かしわハンズ	26人(内職員9人)

#### ⑤ 保健衛生及び健康管理

ア 保健衛生

利用者の日常の健康状態を把握するために協力医療機関を定め、定期健康診断を実施した。

協力医療機関 恩田クリニック

定期健診実施日 11月29日

実施場所 かしわハンズ別棟多目的室

## イ 健康管理

日ごろの運動不足を解消するため、体力づくりを実施した。

行事名	開催日	実施場所	参加人数
体力づくり	6月21日	国営越後丘陵公園	32人(内職員8人)
調理体験及び体力づくり	3月6日	かしわハンズ	29人(内職員7人)

### (4) パンの製造及び販売

#### ① 利用者の能力、適性にあった作業の安全確保

利用者本人の能力や適性などをできる限り考慮し、なるべく利用者本人の希望する仕事を提供した。

#### ② 品質向上や商品開発の推進

ランチボックスの一般販売を実施。年間 861 食、総額 402,100 円を売り上げた。少しずつ内容を工夫する等お客様のニーズに合わせられるよう取り組んだ。次年度はさらに内容を工夫し、たくさんの市民の皆様にご利用していただけるよう努めたい。

また、これまでの事業形態を見直すと共に材料(主に小麦粉)の仕入れ価格の比較を行ない、試作も行って見たが、結果的に現在の仕入れ業者が安価で使いやすいという結果となった。さらに、昨今注目を浴びている高級食パンの試作を検討し、着手した。

#### ③ 販路の拡大

ランチボックスの一般販売が始まり、今まで注文のなかった団体や事業所等から注文が来るようになり、販路拡大につながった。

しかし、新型コロナウイルス感染症防止のため、20件あった販売先のうち約10件から販売自粛の依頼があり、1月末頃からパン販売に苦慮した。

#### ④ 利用者工賃の向上

今年度は、工賃支給額向上に向け、ランチボックスの一般販売開始。さらに、材料仕入れ価格の比較を行ない、安価な品物を仕入れた。

#### ⑤ 利用者と一緒に各事業所への配達した状況

	年間合計	月平均
稼働日数	240日	20日
販売箇所数	1,779箇所	148.25箇所
同行した利用者人数	1,214人	101.16人
配達箇所数	2,072回	172.66回
同行した利用者人数	227人	18.91人

### (5) 新規事業の検討

年齢や障害の程度により、団体での作業が難しい人への新規事業を検討したが、安定した事業を検討する必要がある、引続き検討を行う。

## 2 日中一時支援事業の運営(社会適応訓練)

### (1) 利用者数 3月31日現在

定員数	登録者数 (男性)	登録者数 (女性)	合計
5人	3人	0人	3人

(2) 稼働日数及び利用状況 ※( )内は月平均

稼働日数	利用延人数
240 日	190 人
(20 日)	(15.83 人)

### 3 事故防止への取組み

- (1) 苦情対応・支援中の事故・車両事故事例。ヒヤリハット事例の収集・分析・・・今年度該当なし
- (2) 食中毒を含む事故防止策対応マニュアルの見直し  
外部研修で『食品安全の基礎知識』と『感染症予防研修会』を実施。
- (3) 緊急時に関する訓練の実施
  - ① 安全運転管理者等講習会に参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9月10日
  - ② 避難訓練実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6月28日、11月21日

### 4 職員の資質向上

- (1) 資格取得のための研修及び講習会への参加
  - ① 社会福祉主事任用資格取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1人
  - ② サービス管理責任者資格取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1人
  - ③ サービス管理責任者更新研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2人
  - ④ 相談支援専門員資格取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1人
- (2) 県内外の研修等への参加  
新潟県社会福祉協議会主催の各種研修会に参加・・・・・・・・・・・・・・・・6人
- (3) 自立支援協議会などへの参加  
自立支援協議会主催のジョブガイダンスに参加。利用者の就職に対する意識に変化が見られた。
- (4) 係内研修の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10回  
内容：事例検討4回、平成31年度事業計画について、定着支援について、食品安全の基礎知識  
感染症予防について、障害福祉サービスと介護保険、一年間の振り返りと新年度に向けて

### 5 検討の継続

- (1) 事業所建物の増改築  
検討した結果、委員会またはプロジェクトを立ち上げることとなったが、時期は未定。
- (2) 利用者の送迎事業  
協議を重ね、公共交通機関を利用して柏崎駅まで来る利用者を対象に柏崎駅からかしわハンズの間の送迎を令和元年12月1日～令和2年2月29までの間試行実施。平均5～6人の利用者があり、効果が認められた。

## ○通所介護事業課(赤坂山・松波・北条デイサービスセンター・シニアエクササイズさんわ)

利用者数においては、各デイサービスともほぼ前年並みで推移した。また今年度は、記録的な暖冬であったことからキャンセル数も少なかったが、寒暖差が激しかったこともあり、体調を崩す利用者も例年より多かった。

シニアエクササイズさんわにおいては、利用者数が増加したものの総合事業利用者が多く、収支の改善が図られず、かえって悪化してしまった。今後の事業継続において厳しい状況となった。

○ 赤坂山デイサービスセンター 一般型定員 39 人、短時間午前 10 人／午後 10 人

- ・専任の理学療法士を配置し、個別のリハビリメニューを作成し実施、評価することで、利用者のリハビリに対する意識が向上した。短時間デイサービスでは、リハビリに特化しており、特に機能訓練への意識が高く、機能の向上が図られた。
- ・年間を通して、利用者人数の大きな変動はなかったが、曜日によりバラつきが見られた。米山町や谷根地区など、他事業所がサービス提供を行わないところの利用者を積極的に受け入れている。送迎体制も 1 便から 2 便体制に変更するなどして対応した。
- ・総合事業利用者が減少傾向にあることから、地域包括支援センターと相談しながら、利用者確保に努めた。

(1) 利用状況

※( )内は、短時間デイサービス利用者数再掲

年度	営業日数	延利用者数	一般型			キャンセル数	平均利用者(人/日)
			一般(要介護1~5)	現行相当サービス	総合事業		
			延利用者				
令和元年度	309日	11,285人 (2,557人)	9,745人 (1,017人)	10人 (10人)	1,530人 (1,530人)	180回	36.5人 (8.3人)
平成30年度	312日	11,255人 (2,822人)	9,551人 (1,118人)	292人 (292人)	1,412人 (1,412人)	230回	36.1人 (9.0人)
増減	△3日	30人	194人	△282人	118人	△50回	0.4人

○ 松波デイサービスセンター 一般型定員 30 人 認知症対応型定員 7 人

- ・年度途中で管理者が変更となるなど、職員体制において不安定な状況となったが、年度当初から、市内の居宅介護支援事業所等に積極的に新規利用者を依頼し、利用者増を図ってきた結果、利用者数は微増となった。
- ・認知症対応型デイサービスは、他法人の廃止により、市内では当事業所のみとなった。認知症利用者においては、個別のメニューを提供し、職員が専属で対応することで、質の高い認知症ケアを実践した。また認知症対応型デイサービスは地域密着型サービスであることから、10月に運営推進会議を松波デイサービスセンターにて開催したが、3月の運営推進会議は、新型コロナウイルスの影響により、開催できず、関係者に資料を送付した。
- ・障がい者のデイサービス(基準該当生活介護)の実施については、松波地区の障害者施設の入所者3人が利用され、入浴(機械入浴)・食事・排泄介助などのサービスを提供した。

(1) 利用状況

※( )内は、サービス A 利用者数(再掲)

	営業日数	延利用者数	一般型			認知症型	障害デイ	キャンセル数	平均利用者(人/日)
			一般(要介護1~5)	現行相当サービス	総合事業	要介護1~5	基準該当		
			延利用者						
令和元年度	309日	7,108人 (215人)	5,677人	207人	215人 (215人)	900人	109人	110回	23.0人 (0.7人)
平成30年度	312日	6,807人 (120人)	5,322人	183人	196人 (120人)	964人	142人	101回	21.8人 (0.4人)
増減	△3日	△301人	355人	24人	19人	△64人	△33人	9回	1.2人

○ 北条デイサービスセンター 一般型定員 34 人、短時間午前 10 人／午後 10 人

- ・昨年度と比較すると利用者数は減少したが、概ね目標としていた利用者数は確保できた。複数回利用者が多く、入院等により長期に休みとなると利用者数が激減する厳しい状況となるが、複数回利用を希望される方も多いことから、利用日等を調整し、利用者数確保に努めた。
- ・非常勤理学療法士を配置し、リハビリの重要性や効果を利用者が実感できるようになってきており、意欲の向上が見られた。

(1) 利用状況

※( )内は、短時間デイサービス利用者数再掲

	営業日数	延利用者数	一般型			キャンセル数	平均利用者 (人/日)
			一般 (要介護1~5)	現行相当 サービス	総合事業		
			延利用者				
令和 元年度	309 日	8,417 人 (643 人)	7,348 人	451 人 (25 人)	618 人 (618 人)	117 回	27.2 人 (2.1 人)
平成 30 年度	312 日	8,871 人 (686 人)	7,454 人	865 人 (134 人)	552 人 (552 人)	99 回	28.4 人 (2.2 人)
増減	△3 日	△454 人	△106 人	△414 人	66 人	18 回	△1.2 人

○ シニアエクササイズさんわ 定員：午前 15 人／午後 15 人

- ・今年度から非常勤理学療法士を配置し、利用者の機能訓練指導を行ってきた結果、利用者数は増加したが、総合事業対象者の増加が多かったことから収支の均衡が図れなかった。また、事業場の面積の関係で、リハビリを行うには手狭であり、1 日の利用者を積極的に受け入れることが、困難であり、これ以上の利用者増は見込めない状況である。
- ・10 月に運営推進会議をシニアエクササイズさんわにて開催したが、3 月の運営推進会議は、新型コロナウイルスの影響により、開催できず、関係者に資料を送付した。

(1) 利用状況

※( )内は、総合事業利用者数

	営業日数	延利用者数	一般型			キャンセル数	平均利用者 (人/日)
			一般 (要介護1~5)	現行相当 サービス	総合事業		
			延利用者				
令和 元年度	258 日	2,531 人	1,105 人	217 人	1,209 人	68 回	9.8 人 (5.5 人)
平成 30 年度	256 日	2,054 人	968 人	499 人	587 人	70 回	8.0 人 (4.2 人)
増減	2 日	477 人	137 人	△282 人	622 人	△2 回	1.8 人

○ 通所介護事業課共通内容

1 実施行事一覧

	赤坂山 DS	松波 DS	北条 DS	SE さんわ
4 月	お花見ドライブ	お花見ドライブ	お花見ドライブ	お花見ドライブ
5 月		お茶会		夢の森公園散策
6 月	閻魔市	閻魔市	ミニ閻魔市	閻魔市 (他デイ行事参加)
7 月	民謡流し	民謡流し	民謡流し	



8月	デイサービス 交流ドライブ	納涼会	フラダンス鑑賞会	
9月	敬老会	敬老会	敬老会	敬老会 (他デイ行事参加)
10月	運動会	松波オリンピック	運動会	運動会
11月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学ドライブ	紅葉見学ドライブ	紅葉見学ドライブ
12月	忘年会	忘年会	忘年会・ クリスマス会	忘年会 (他デイ行事参加)
1月	双六大会	新年会	新年会	新年お楽しみ会
2月	鬼退治ボウル・ 福よこい	節分	節分	白鳥見学ドライブ
3月	都道府県庁 合わせゲーム	カラオケ大会	送別会・ お楽しみ会	

## 2 職員の資質向上

(1) 月1回の係内研修を実施した。(各デイサービス)

	赤坂山 DS	松波 DS	北条 DS	SE さんわ
4月	事業計画予算説明	事業計画予算説明	事業計画予算説明	事業計画予算説明
5月	交通安全研修会	交通安全研修会	交通安全研修会	交通安全研修会
6月	認知症研修	若年性認知症研修	機能訓練研修	事例検討会
7月	モラル研修	モラル研修	モラル研修	モラル研修
8月	機能訓練 ・自立支援研修	事例検討会	事例検討会	事例検討会
9月	事例検討会	事例検討会	事例検討会	事例検討会
10月	感染症予防研修	感染症予防研修	感染症予防研修	感染症予防研修
11月	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス研修
12月	AED 講習会	AED 講習会	AED 講習会	AED 講習会
1月	ヒヤリハット ・事故研修	事例検討会	ヒヤリハット ・事故研修	ヒヤリハット ・事故研修
2月	事例検討会	事例検討会	事例検討会	事例検討会
3月	業務見直し ・振り返り	業務見直し ・振り返り	業務見直し ・振り返り	業務見直し ・振り返り

(2) デイサービス看護師研修会を奇数月で開催した。

(3) 衛生委員会研修会「メンタルヘルス研修会」に参加 . . . . . 11月26日

(4) 消防署職員を講師に招き、デイサービス AED 研修会を実施 . . . . . 12月12日  
参加者 40人

## 3 サービス向上の取り組み

(1) 事業所アンケートの実施

・ 10月実施。依頼事業所24件・回収21件(回収率87.5%)、依頼者数96名・回収90名(回収率93.7%)  
地域に密着した事業所としての評価を得るなど、概ね満足という結果が得られた。事業所からの要望については事業所内で対応を検討した。

## 4 事故防止への取り組み

(1) 安全運転講習会へ参加 . . . . . 5月29日

(2) 各デイサービスセンターにて避難訓練を実施 . . . . . 10月・3月

## 5 広報活動

- (1) 社協広報誌「福祉のひろば」を活用した利用者へのPRの実施 . . . . . 1月5日号
- (2) 月1回利用者介護者向けのデイサービス通信を発行した。(各デイサービス)
- (3) 地域包括支援センターへの情報提供とPR活動を実施した。(各デイサービス)

## 6 介護保険外サービスの実施

- (1) 理・美容サービスを近隣の理容店の協力を得て実施した。
  - ① 赤坂山デイサービスセンター . . . . . 143件
  - ② 松波デイサービスセンター . . . . . 138件
  - ③ 北条デイサービスセンター . . . . . 131件
- (2) 時間延長サービスを実施した。
  - ① 赤坂山デイサービスセンター . . . . . 19件
  - ② 松波デイサービスセンター . . . . . 0件
  - ③ 北条デイサービスセンター . . . . . 2件

## 7 施設の老朽化による大規模修繕

- (1) 赤坂山デイサービスセンターの給湯器の入替を実施
- (2) 赤坂山デイサービスセンター、松波デイサービスセンター、北条デイサービスセンターの照明機器のLED化を実施

## 8 介護者研修の受入れ事業

市内小・中学生の体験学習、専門学校、大学及び介護職員初任者研修の施設実習の受入れを行った。

実習受入	赤坂山デイサービスセンター	松波デイサービスセンター	北条デイサービスセンター
市内小・中学生の職場体験学習	30人	0人	0人
専門学校・大学生の施設実習	2人	1人	0人
その他	0人	0人	0人
合計	32人	1人	0人

○令和元年度事故発生・苦情受付報告

1 事故発生状況

課	係	件数	事故種別 件数			
			介護	車輛	破損	その他
総務課	総務係	1	0	0	0	1
	経理係	4	0	0	0	4
地域福祉課	地域福祉係	8	0	1	0	7
	生活支援係	7	0	0	0	7
	こども支援係	27	0	0	6	21
	高柳支所	1	0	1	0	0
	西山支所	2	0	1	0	1
訪問事業課	訪問介護係	4	0	0	1	3
	訪問看護係	3	0	1	0	2
介護支援事業課	介護支援第一係	20	0	4	1	15
	介護支援第二係	11	0	1	0	10
	地域包括支援係 包括まちなか	6	0	0	0	6
	地域包括支援係 包括あかさかやま	3	0	0	0	3
障害福祉事業課	障害福祉サービス係	0	0	0	0	0
	相談支援係	1	0	1	0	0
	かしわハンズ	0	0	0	0	0
通所介護事業課	赤坂山D S	31	28	3	0	0
	松波D S	32	26	6	0	0
	北条D S	23	20	2	1	0
	シニアエクササイズさんわ	4	4	0	0	0
合計		188	78	21	9	80

2 苦情報告の件数及び申し出の主訴

課	係	件数	申出人			
			本人	親	子	その他
総務課	総務係	0	0	0	0	0
	経理係	0	0	0	0	0
地域福祉課	地域福祉係	0	0	0	0	0
	生活支援係	1	1	0	0	0
	こども支援係	7	0	4	0	3
	高柳支所	0	0	0	0	0
	西山支所	0	0	0	0	0
訪問事業課	訪問介護係	4	0	0	0	4
	訪問看護係	1	0	0	1	0
介護支援事業課	介護支援第一係	5	1	0	2	2
	介護支援第二係	2	0	0	1	1
	地域包括支援係 包括まちなか	4	2	0	1	1

	地域包括支援係 包括あかさかやま	2	0	0	0	2
障害福祉事業課	障害福祉サービス係	1	0	0	0	1
	相談支援係	0	0	0	0	0
	かしわハンズ	0	0	0	0	0
通所介護事業課	赤坂山D S	5	1	0	2	2
	松波D S	1	0	0	1	0
	北条D S	2	0	0	0	2
	シニアエクササイズさんわ	0	0	0	0	0
合計		35	5	4	8	18

課	係	合計	処遇の内容	職員の言動	制度に係る意見・要望	その他
総務課	総務係	0	0	0	0	0
	経理係	0	0	0	0	0
地域福祉課	地域福祉係	0	0	0	0	0
	高柳支所	0	0	0	0	0
	西山支所	0	0	0	0	0
	生活支援係	1	1	0	0	0
	こども支援係	7	0	6	0	1
訪問事業課	訪問介護係	6	1	1	0	4
	訪問看護係	3	1	0	1	1
介護支援事業課	介護支援第一係	8	2	5	0	1
	介護支援第二係	4	2	2	0	0
	地域包括支援係 包括まちなか	6	2	4	0	0
	地域包括支援係 包括あかさかやま	2	1	0	0	1
障害福祉事業課	障害福祉サービス係	1	0	0	0	1
	相談支援係	0	0	0	0	0
	かしわハンズ	0	0	0	0	0
通所介護事業課	赤坂山D S	6	1	2	0	3
	松波D S	2	1	0	1	0
	北条D S	3	1	2	0	0
	シニアエクササイズさんわ	0	0	0	0	0
合計		49	13	22	2	12

※項目の重複回答あり